

---

# 第35回 頭頸部放射線研究会 第35回 胸部放射線研究会 東京部会プログラム

---

● 日時：平成18年6月10日(土) 14:00~18:10

● 会場：パークタワーホール（新宿パークタワー3F）

東京都新宿区西新宿3-7-1 電話 03-5322-6633

※会場整理費として当日1,000円いただきます。

## ◎頭頸部放射線研究会東京部会

代表世話人：黒崎喜久(順天堂大) 辰野 聡(東京歯科大市川総合病院) 山田恵子(癌研有明病院)

世話人：浮洲龍太郎(昭和大横浜市北部病院) 尾尻博也(東京慈恵会医大)

栗原宜子(聖マリアンナ医大) 酒井 修(ボストン大)

鈴木恵子\*(東京女子医大) 塚本 浩(静岡市立清水病院)

顧問：多田信平

## ◎胸部放射線研究会東京部会

代表世話人：佐藤雅史(日本医大第二病院)

世話人：荒川浩明(獨協医大) 岩澤多恵(神奈川県立循環器呼吸器病センター)

氏田万寿夫(東京慈恵会医大) 叶内 哲(埼玉県立循環器・呼吸器病センター)

櫛橋民生(昭和大横浜市北部病院) 楠本昌彦(国立がんセンター中央病院)

栗原泰之(聖マリアンナ医大) 甲田英一(東邦大学大橋病院)

酒井文和(都立駒込病院) 中島康雄\*(聖マリアンナ医大) 南 学(筑波大)

横山健一(杏林大)

顧問：土井 修, 蜂屋順一

\*は第35回当番世話人です。

## 演者へのお願い

◆原稿の読み上げはご遠慮ください。発表はPCを使用します。基本はデータの持ち込み(USBメモリーステック, CD)としますが, データのコピーなど不都合が生ずる場合およびMacの場合, ご自身のパソコンをご持参下さい。

共催 頭頸部放射線研究会東京部会

胸部放射線研究会東京部会

田辺製薬株式会社, 栄研化学株式会社, テルモ株式会社

事務局：〒355-0055 東松山市松風台4-62

TEL 0493-35-3305 FAX 0493-35-4587

E-mail: ky2s-mtsm@asahi-net.or.jp

# 第35回頭頸部放射線研究会東京部会プログラム (14:00~16:00)

## ■一般演題 (14:00~15:00) (発表7分, 討論3分)

座長: 辰野 聡 (東京歯科大市川病院)

### 1. Foramen of Huschke: CT解剖

東京慈恵会医科大学・放射線科

尾尻博也, 兼平千裕, 福田国彦

要旨: Foramen of Huschkeは外耳道骨部前下方に骨化不全による骨欠損部として認められる正常変異で, 外耳道・耳下腺領域での病変進展様式, 骨侵食の有無の判断・理解に重要である。今回, CT解剖とともに臨床的事項に付き, 検討・報告する。

### 2. 鼻腔奇形癌肉腫の1例

東京女子医科大学・放射線科 水戸済生会総合病院・放射線科<sup>1)</sup> 同・耳鼻咽喉科<sup>2)</sup>

齋藤尚子, 鈴木恵子, 遠田 譲<sup>1)</sup>, 金山亮治<sup>2)</sup>, 桑鶴良平, 小野由子, 三橋紀夫

要旨: 鼻閉を主訴とする79歳男性。左鼻腔を占め, 一部副鼻腔に進展し後鼻孔から中咽頭レベルまで下垂する腫瘍が認められた。稀な奇形癌肉腫の1例を経験したため若干の文献的考察を加えて報告する。

### 3. ダンベル型を呈した口腔底類皮嚢胞の1例

関西医科大学・放射線科 大阪歯科大学・歯科放射線科<sup>1)</sup>

池田耕士, 前原 稔, 大村直人, 黒川弘晶, 澤田 敏 古跡孝和<sup>1)</sup>

要旨: 口腔底正中部の類皮嚢胞はダンベル型を呈していた。嚢胞は両側にオトガイ舌筋およびオトガイ舌骨筋を, 下方に顎舌骨筋を圧迫していた。

### 4. 耳下腺原発扁平上皮癌の1例

昭和大学横浜市北部病院・放射線科 同・耳鼻科<sup>1)</sup> 同・病理科<sup>2)</sup>

薄井庸孝, 浮洲龍太郎, 田中絵里子, 馬場麻衣子, 藤澤英文, 馳澤憲二, 武中泰樹, 櫛橋民生, 門倉義幸<sup>1)</sup>, 石田 良<sup>1)</sup>, 油井健史<sup>1)</sup>, 塩川 章<sup>2)</sup>

要旨: 51歳, 男性, 右耳下腺腫瘍を主訴に来院した。MRI T2強調像にて右耳下腺に不均一な巨大腫瘍がみられ, 周囲浸潤を示し辺縁に造影効果がみられた。生検で扁平上皮癌と診断された。画像所見を中心に文献的考察を加え報告する。

### 5. 副耳下腺より発生し巨大な嚢胞形成を示したacinic cell carcinomaの1例

自治医科大学・放射線科 同・病理<sup>1)</sup>

藤田晃史, 島田和佳, 山元龍哉, 杉本英治, 金井信行<sup>1)</sup>

要旨: 症例は55歳, 男性。徐々に増大する左頬部の腫瘍を主訴に来院。CT, MRIでは左耳下腺前方に巨大な嚢胞形成を示した腫瘍を認めた。手術で左耳下腺本体とは容易に剥離ができ, 副耳下腺由来の腫瘍と考えられた。

## ●教育講演 (15:15~16:00)

座長: 鈴木恵子 (東京女子医科大学)

### 「頸動脈エコーのガイドライン」

堤 由紀子 先生 (東京女子医科大学 神経内科)

# 第35回胸部放射線研究会東京部会プログラム (16:15~18:10)

## ●特別講演 (16:15~17:00)

中島康雄 (聖マリアンナ医科大学)

「びまん性肺疾患—マルチスライスCT時代の読影法を考える—」

林 英博 先生 (総合病院岡山赤十字病院 放射線科)

## ■一般演題 (17:10~18:10) (発表7分, 討論3分)

座長: 氏田万寿夫 (東京慈恵会医科大学)

### 1. 入れ墨刺入後3年後に発症したLofgren症候群の1例

日本医科大学武蔵小杉病院・放射線科

椎葉真人, 阿部和也, 金城忠志, 山本 彰, 佐藤雅史

要旨: 症例は28歳女性。3年前に入れ墨を刺入している。発熱, 関節痛, 結節性紅斑の精査の結果, サルコイドーシスと診断された。サルコイドーシスのまれな亜形であるLofgren症候群について文献的考察を含めて発表する。

### 2. 好酸球性肺疾患の画像所見~薬剤性肺病変について

東京慈恵会医科大学・放射線科

氏田万寿夫, 五十嵐隆朗, 松島理士, 福田国彦

要旨: 種々の薬剤による好酸球性肺疾患患者3名の単純X線写真およびCTを検討し, その画像所見を主体に文献的考察を交え報告する。

### 3. 腫瘍部に肺膿瘍を生じ, 膿胸を併発した肺扁平上皮癌の1例

昭和大学横浜市北部病院・放射線科 同・呼吸器センター<sup>1)</sup> 同・病理<sup>2)</sup>

馬場麻衣子, 藤澤英文, 薄井庸孝, 田中絵里子, 浮洲龍太郎, 武中泰樹, 櫛橋民生, 神尾義人<sup>1)</sup>, 北見明彦<sup>1)</sup>, 中島宏昭<sup>1)</sup>, 塩川 章<sup>2)</sup>

要旨: 60歳代の男性。右肺空洞性結節が指摘された。結節は急速に増大し, 経過中に肺膿瘍と膿胸を併発した。手術にて膿胸壁の一部から扁平上皮癌が示された。興味ある経過と画像所見を呈したので, 若干の文献的考察を加え報告する。

### 4. 呼吸器症状で発症した高安大動脈炎の1例

慶應義塾大学・放射線科

細田幸司, 杉浦弘明, 岡村哲平, 高橋紘子, 中野敬子, 陣崎雅弘, 栗林幸夫

要旨: 症例は30代, 男性。主訴は血痰, 呼吸苦。右下肺野に浸潤影を認め, 肺胞出血と考えられた。経過観察で右肺動脈の狭小化を認めた。高安大動脈炎による肺動脈狭小化を来たし, 肺胞出血を合併したと考えられた。

### 5. 潰瘍性大腸炎に関連した気管支狭窄の1例

聖マリアンナ医科大学・放射線科 同・呼吸器感染症内科<sup>1)</sup> 同・病理学教室<sup>2)</sup>

吉松美佐子, 松岡 伸, 栗原泰之, 八木橋国博, 中島康雄, 井上健男<sup>1)</sup>, 中村美保<sup>1)</sup>, 宮澤輝臣<sup>1)</sup>, 高木正之<sup>2)</sup>

要旨: 49歳女性。16年前に潰瘍性大腸炎にて大腸全摘術後。1年前頃より呼吸困難を主訴に受診。気管から左主気管支の壁肥厚と狭窄を認めた。病理で気管支粘膜の炎症による浮腫と線維化が見られた。

### 6. 肺悪性腫瘍ラジオ波焼灼術の初期成績 (5例6病変)

神奈川県立循環器呼吸器病センター・放射線科 同・呼吸器外科<sup>1)</sup>

西村潤一, 石和直樹<sup>1)</sup>, 小川伸郎<sup>1)</sup>, 岩澤多恵

要旨: 肺癌再発例や大腸癌肺転移などの患者5名, 6病変に対し, ラジオ波焼灼術 (RFA) を施行した。いずれも重篤な後遺症を残さず, 現在まで局所再発もみられていない。RFAは, 肺悪性腫瘍の局所治療として有効な治療法と思われる。

◆◆ 研究会終了後, 意見交換会を開催いたします ◆◆